

2025年度 事業計画書

【A】調査・研究事業

A-1 学校情報伝達システムの調査・研究

1. 通信づくり講習会、新聞教育指導者講習会等、教師又は大学の教職課程の学生を対象とした講習会を開催する。
2. いじめのないよりよい学級づくりの調査・研究
 - ・はがき新聞を活用した学級力向上プロジェクト等の研究活動を支援し、よりよい学級づくりの事例を集め、全国に伝播する。
 - ・全国の学級経営を研究する研究会と連携し、多くの先生が学級経営について学び、学校現場における実践が拡大するよう支援する。
 - ・「学級力向上プロジェクト・フォーラム」と称し、実践を広く発表する場としてフォーラムを開催する。
日時:2026年2月(予定)
開催方式:オンライン
対象:全国の教育関係者 200名

A-2 教師による自作教材の調査・研究

学習プリントをカラー化することによる教育効果や視覚的效果などについて調査・研究をする。
カラー化された研究成果を冊子化し授業ノウハウの共有化を図る。

A-3 児童・生徒による創作表現活動の調査・研究

はがき新聞の教育効果に関する調査・研究

1. コンパクトテキストによる文章表現力育成についての研究
 - ・はがき新聞の教材を充実させ、書く力の育成を支援する。
 - ・はがき新聞を使いコンパクトに書くことでの教育効果の向上を図る研究をする。
 - ・はがき新聞とICTを用いた授業づくりについて研究をする。
2. はがき新聞研究会によるノウハウ集約と実践の伝播
 - ・はがき新聞研究合同部会を開催する。
日時:2025年10月(予定)
3. 2025年度 理想教育財団教育フォーラムの開催
 - 第14回 教育フォーラム
日時:2025年10月(予定) 会場:未定
開催方式:ハイブリッド形式
対象:全国の教育関係者及び財団関係者 250名(対面150名、オンライン100名)
テーマ:未定
4. 地域における小規模フォーラム、ワークショップの企画実施
 - ・各地の教育機関と連携し、地域に根ざしたミニフォーラム、ワークショップを開催し、地域への情報提供を図る。
 - ・地域イベント開催に注力し、はがき新聞を活用した授業づくりを推進すると共に授業実践の支援を強化する。

【B】情報提供事業

B-1 教育関連出版物の刊行

既存刊行物の増刷、再編集等(古くなった刊行物等の電子化により、在庫削減を図る。)

B-2 研究情報誌の発行

機関誌「季刊理想」の発行。内容充実のため、現場取材を励行し、分かりやすく実践に即した情報提供に努める。

B-3 ホームページの運用

財団事業の告知や活動報告、情報開示のほか、プリントコミュニケーション活動に役立つ情報の提供をさらに充実させる。

- ・各調査研究事業(はがき新聞、学級力向上プロジェクト、通信)のコンテンツを拡充する。
- ・通信関連の情報発信に関し、今後の動向を踏まえた新たな運営を企画する。
- ・奨学金給付事業に関わるページを開設する。

【C】助成・顕彰事業

C-1 後援・支援の事業

1. 文化芸術教育の充実に関する事業への助成

各地の教育委員会が主催する、学校における文化芸術活動の発展・充実と、児童・生徒の健全な育成を目的とする事業を支援する。

2. その他、プリントコミュニケーション活動、コミュニケーション文化の発展に関わる事業に必要な応じ助成・支援する。

C-2 新聞教育の普及・振興

1. 新聞教育に対する支援

各地で開催される新聞コンクールや NIE 等の研究大会および新聞を活用した教育活動について支援する。

C-3 日本人学校等への支援・助成

1. 児童図書への寄贈

海外日本人学校(補習授業校を含む)に対し、児童図書を寄贈する。

2. 海外・日本語教育及び途上国への教育支援。

C-4 コンクールの開催・顕彰

「プリントコミュニケーションひろば」の終了に際し、回顧録を制作し配布する。

C-5 奨学金の給付

学びの多様化学校(小学校・中学校)へ就学を希望する児童・生徒を対象とした奨学金給付事業を開始する。

以上